

令和6年能登半島地震 コープいしかわが取り組んだこと

(1月17日記)



どこにいても安心して利用ができるように

奥能登の利用回復状況

穴水町以北を配送しているのと北部センターエリアの12月3回企画時点でのご利用状況は、震災前となる2024年1月1回企画時と比較して穴水町・能登町では90.3%、珠洲市・輪島市では78.0%となりました。

豪雨被害を受けて CO・OP共済お見舞い訪問活動

12月10日(火)と11日(水)、共済加入組合員を対象に被害状況の確認や共済金の手続きをする訪問活動を行いました。輪島市、珠洲市をコープ共済連とコープいしかわの職員が訪問しました。

地域とともに

輪島市災害たすけあいセンター(災害ボランティアセンター)の運営支援

10月から開始した輪島市災害たすけあいセンター(災害ボランティアセンター)の運営支援を12月まで継続しました。日本生協連とコープいしかわ職員、全国の生協職員が毎週金・土・日に支援に入り、他の支援団体とともにボランティアへの活動内容を説明するマッチングや水害対応で増えた活動用資材・機材の管理などを行いました。



第10回 ボランティアバス

12月14日(土)、藤波運動公園ピアッツアにてコープ商品の試食会を開催しました。組合員・職員30名が参加しました。



定期的な活動で「うちも生協さんの炊き出しを食べたよ」と能登の方々に楽しい話題が増えることが何よりと思います。生協さんといえば衣食住だと思っておりますので、一番生協さんらしい支援だと思いました。 **参加者感想**

コープのつながりを復興の力に

災害義援金 石川県へ新たに4億6,500万円を贈呈

日本生活協同組合連合会と石川県生活協同組合連合会は1月9日(木)、全国の生協から寄せられた災害支援募金より4億6,500万円を石川県に贈呈しました。昨年6月の10億円贈呈に続き2回目です。贈呈式では、日本生協連 土屋 敏夫代表理事会長から馳 浩石川県知事へ目録をお渡しし、馳知事より感謝の言葉をいただきました。



コープみらいフェスタで復興応援ブース

12月1日(日)に東京ビッグサイトで開催されたコープみらいフェスタで、能登の応援ブースが設けられました。能登の商品や文化などの紹介、コボ丸のトントン相撲や折り紙などが企画され、多くの方が立ち寄り被災地へ思いを馳せました。コープみらい、コープデリ連合会からコープいしかわへ1年間出向してのと北部センターで配送をしている森川さん、佐々木さん、徳田さんの紹介と3人へ向けての応援メッセージを書いてもらうコーナーもありました。



みやぎ生協・コープふくしまからの支援品

みやぎ生協とコープふくしまの組合員からメッセージとともにコープ商品の詰め合わせセットを1,115点いただきました。のとセンターの地域担当が組合員にお届けすると応援や励ましのメッセージに「心遣いがうれしい」「本当にありがたい」と目を潤ませる組合員もいました。お届けした地域担当者も組合員の笑顔を見て元気をもらいました。



おいしく作ってヘルシークッキング

11月30日(土)にLAKUNAはくい家庭料理研究家の奥菌壽子さんの料理教室を開催し能登地域の組合員17名を無料で招待しました。料理教室では身近な食材で簡単にできるヘルシーレシピや減塩の仕方を教わり、食事から健康を考える機会となりました。



継続中

- 輪島市で豪雨災害避難者へ朝食と生活必需品を提供
輪島市が9月の奥能登豪雨災害避難者へ給与する生活必需品の支援要請があり、日本生協連通販本部(くらしと生協)の協力を得て12月16日(月)から調達しています。また2024年2月から避難者用の朝食支援としてコープのパンや野菜ジュースを輪島の災害支援拠点へお届けを継続しています。豪雨災害により避難者が増え、400食となり、現在は300食を日本生協連の協力を得てお届けしています。
- 仮設住宅への調味料セット
日本生協連の協力を得て、仮設住宅の入居者へコープの調味料セットを入居前にお届けしています。12月25日(水)までの寄贈・お届け世帯数はのべ206カ所、5,369世帯。

Q 「CO-OP ワンタッチ芯までロール」は最後の方になると紙が圧縮されつついて、はがせなくなります。150mの最後まで使いたいです。はがせるように改良できませんか。

A はがれやすいように加工していますが製造条件によりうまくはがれない場合がありますので、既定の150mより約2m多めに巻いています。

紙と紙を貼り合わせて芯になるように成形・加工し、芯の内側は凹凸として凹部分にのみ「保湿剤」をつけることではがれやすいようにしています。しかし、保湿剤の噴霧状況やロール紙の材質、製造時の湿度などの条件によって、うまくはがれなかったと考えます。この芯の形状や加工方法の変更には新たな設備投資をする必要があるため改善は難しい状況ですが、製造しているメーカーでも引き続き研究検討を行い、できるかぎり安定した品質のものをお届けできるよう品質管理を強化してまいります。



組合員の声

Q 建石さんの冷凍里いもの袋に「絶対に解凍しないで」という注意書きがありました。調理前に解凍してはいけない理由は何ですか。

A 調理前に自然解凍やレンジ解凍をすると、里いもの細胞が壊れてしまい、調理後の舌触りが悪くなるからです。

建石さんの冷凍里いものは一気にゆで上げることでおいしく食べられる商品で、生産者の建石さんにお伺いしたところ、おいしく食べていただきたいとの思いから「絶対に」という文言を使用しているとのことでした。



コープいしかわの姿

2024年4月1日～2024年11月30日

	予算	実績	前年
宅配事業供給高(億円)	89.5	89.4	91.6
店舗事業供給高(億円)	28.4	29.6	27.8
経常剰余金(万円)	-10,653	-5,975	1,213

出資金: 74億6,320万円 (UP 4,370万円)

組合員数: 168,697人 (UP 315人) (カッコ内は前月比)

11月度安全確認情報 (10月21日～11月20日 検査結果判明分)

検査名	検査実施数
新商品事前	269品
定例企画商品	361品
残留農薬検査	9品
DNA検査	2品
ヒスタミン検査	1品
アレルギー検査	4品

組合員の環境貢献度(12月度)

商品カタログ回収率 **71.2%**
注文書袋・保冷箱内袋回収率 **24.9%**

理事会だより

2024年度 第8回 12月26日(木)開催

承認及び報告された主な議題は次の通りです。

決まったこと

1. 11月度事業・経営報告 承認の件
 - 宅配事業では、仮設住宅への調味料セットのお届け及び訪問活動を継続し、組合員の安否確認と利用を広げる活動を継続して取り組み、のと北部センター全体のカタログ配布は、震災前の74.4%まで回復しました。じわもーでは復興支援として11月1回、3回で合わせて17品目を企画し、計画3,540点に対して5,027点の利用があり、組合員が商品利用を通して復興を応援することができました。
 - 店舗事業の買い物支援では10月にお試し巡回を実施した内灘町宮坂団地(仮設住宅)に、移動スーパーコボ丸便の停留所を新設し、11月1日(金)より本格稼働しました。
2. 第3四半期活動のまとめと第4四半期方針 承認の件
3. 第9次中期計画 最終答申 承認の件
4. 2025年度基調方針 承認の件
5. 新物流センター設計施工契約一部変更 承認の件
6. 第26回通常総代会召集に関する理事会決定事項 承認の件
7. コープ共済連臨時総会 代議員選出の件

報告されたこと

1. 2025年度機関運営要項及び年間会議日程について
2. 創立25周年記念事業企画の検討のすすめ方について
3. 2024年度 第2回理事研修会開催について